

# 参上!

# 学校応援団

## 地域で支える 安曇野の子どもたち

昨年度からスタートした学校支援地域本部事業。未来を担う子どもたち、地域の拠点である学校をみんなの手で支えるこの取り組みは、いわば「地域の学校応援団」です。皆さんも取り組みに参加しませんか?

みんなで  
はぐくむ仕組みを

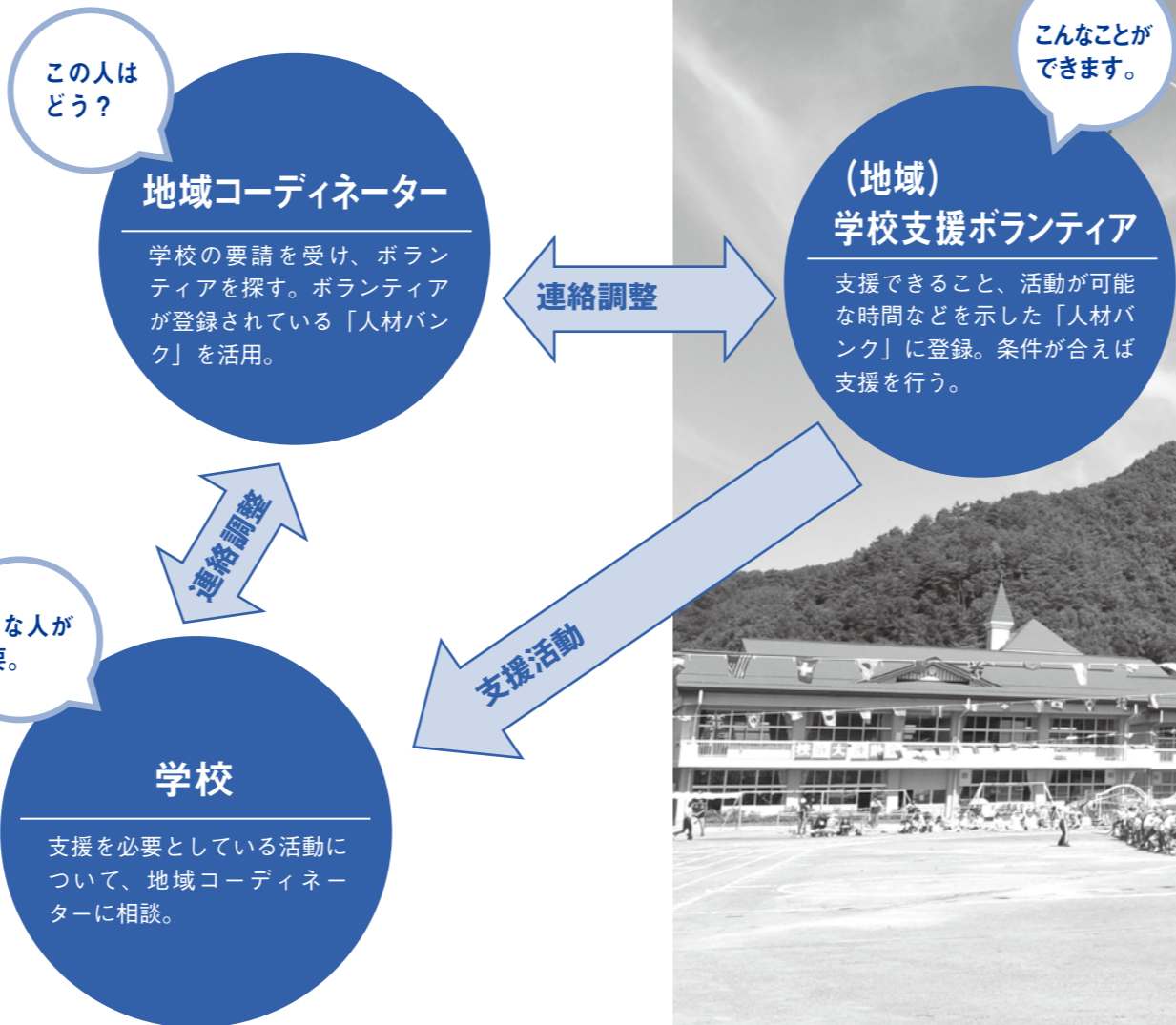
学校は、子どもを持つ親に身近な場所ですが、子どもとかわりがなくなると、遠い存在になってしまいがちです。しかし現在、学校は地域の大人とのかかわりを必要としています。

学校と地域がより強く、より上手に結びつくために――。市教育委員会では、その仕組みづくりに取り組んでいます。そのひとつが、昨年度からスタートした「学校支援地域本部事業」です。

この事業は、学校が必要としているさまざまな活動に地域の皆さんが「学校支援ボランティア」として参加します。各校には「地域コーディネーター」が配置されており、ボランティアの情報が登録されている人材バンクを活用しながら最適な人材を学校へ派遣します（上図参照）。



これまででも多くの皆さんが、学校の教育活動を支えています。この仕組みを構築することで、学校が必要としていることと皆さんにしていただけることをより上手にかみ合わせることが出来ます。



### さらに充実を

**ボ**ランティアの登録者数は、78個人・9団体となっています。支援内容は、子どもたちの見守りをはじめ、授業の補助、校内の環境整備、スポーツ、文化活動の支援などさまざまです。

ボランティアの登録者数が増えることは、それだけ子どもたちを支える力が強まることを意味しています。教育委員会では、ボランティアを随時募集しています。詳細は7ページをご覧ください。



明科中学校1年の教室で授業を補佐するボランティア (写真中央：1月26日)

## 教育現場の声

### 教職員だけではできないことも

堀金小学校 宮澤 純子 先生

「学校支援地域本部事業」は大変心強く、感謝するとともに期待をしています。

市内小中学校の現状や課題はそれぞれ異なりますが、子どもたちの笑顔と健やかな成長を願い、「楽しい学校」をめざして日夜奮闘中の教職員です。しかし、「子どもたち一人一人と向き合う時間がたっぷり」と欲しい。子どもたちの『わかった、できた。やったあ』という歓声をたくさん聞きたい」と願いながらも、現実はなかなかその時間が確保できず、悩む日々が続いています。

本事業では、まず各地域の小中学校ごとに「地域コーディネーター」が配置されています。地域と学校とをつなげ、温かく頼もしいパイプの役目をして下さっています。毎月連絡をとり、緊急時には即来校して下さり、親身になって相談にのっていただけるので、大変ありがたく頼りにしております。

実際に、外国籍児童転入時の日本語指導の支援ボランティア、特別な支援を必要とする児童の支援ボランティア、また総合的な学習の時間に行う各地域の特色ある活動の技術指導支援ボランティア等々の皆さまを派遣していただき、現場教職員だけではできないことを助けていただきました。

地域の皆さまに直接子どもたちにかかわっていただき、共に育てていただけることに感謝し、今後ご加入いただいた支援ボランティアの皆さまに、学校現場をご支援いただけることを心から期待しております。